

第6回 FM はなび番組審議委員会議事録

日 時：平成 29 年 9 月 25 日（月）17:30

於：大曲商工会議所 2階会議室

<出席者>

鈴木直樹 委員長

加藤正則

石川正一

一色浩

<立会人>

武藤勝彦 大曲商工会議所参事

茂木和久 大仙市役所主席主査

伊藤翔太 大仙市役所主席主査

賢木新悦 FM はなび社長

福原尚虎 FM はなび統括部長

1. あいさつ

2. 議事

(1) 番組審議

◆番組名「毎日がだいせん日和」(毎週月-金 8:30~9:00 放送)

【A】

- ・ シンジマンの優しい声が柔らかく聴こえる、楽しませてもらってる
- ・ 地域に根ざした重要な番組
- ・ 市役所各担当者がアナウンスをすることで、彼らの仕事に対するモチベーションがあがるのでは？
- ・ お知らせの羅列が、メモを取り損ねることになるので、繰り返し読むなど工夫が必要なのでは
- ・ 「おらほの直売所」のコーナーは非常に嬉しい、訛が出て来るところに必死さを感じられる、訛るのはとてもいい
- ・ 「ぶらっと大仙あるぎ」のコーナーは情景が見えていい、しかしテンションの高いインタビュアーと、(回答者の)音のバランスが悪く聞き辛い

【B】

- ・ 好感持てる内容
- ・ 市の連絡を淡々としているが、もっと地域性を強調すべき
- ・ ロケのコーナーのノイズが気になる

【C】

- ・ 内容は普通だと思うが、広報誌のタイトルと同じ「毎日がだいせん日和」なのに、連動性を感じない。市のウェブサイトにもリンクも無いし、耳で聴くものと、目に訴えるものの(連動が)ほしい。あるものはきちんと使い相乗効果を図るべき

【D】

- ・うちの女子社員に聴かせてみた、風景が想像出来る虫のノイズ（声）などが良かったようだ
- ・インタビュアーと受ける側の声のバランスが悪い
- ・耳で聴ける広報は助かる

【E】

- ・出だしのアナウンスの声が良い、気持ちがいい
- ・（番組全体の）トーンが明るくて良い
- ・情景も見えてきて良い
- ・地元の地名や話題に共感出来たが、（他地域の）見た事がない人にどう伝わったか

◆番組名「まもるとちえこのドドンとおらほの歌っこ自慢！」

（毎週月 10:00～10:30 放送）

パーソナリティー：高八掛ちえこ、山上衛

【A】

- ・この二人の話しは面白い、夏休みの宿題の話しは特に面白かった
- ・「誰が歌っているのでしょうか」のコーナーは、想像をさせて、引き込まれる物があった

【B】

- ・（この番組も）女性スタッフに聴かせたが、30代なので曲を知らなかった
- ・2人の話しは面白かった、上手だなと思った
- ・（かける曲が）フルコーラスなのは、好きな人なら良いが、ちょっと長く感じるのではないか（私自身は満足かんがあったのだが）

【C】

- ・私の世代ではないが、トラックの運ちゃんのAM番組というイメージ
- ・ローカルけどどこにでもある番組という、安心感がある
- ・変えないで長くやって欲しい
- ・音量のバランスが気になった

【D】

- ・ 私は（他の委員と違って）普通に聴けた
- ・ 昔の番組のような感じ、車の中で何回も聴けた

【E】

- ・ 民謡（専門の）番組かと思った
- ・ 無性に懐かしい、昭和の懐かしさがこみ上げて来た、流れて来た歌で私も一緒に歌った
- ・ カラオケのコーナーは良い事だと思う、曲も2コーラスかけても良いと思う

(2) その他
特になし

3. 閉会